



平成23年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年8月6日

上場会社名 フィデアホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8713 URL <http://www.fidea.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 (氏名) 里村 正治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役 (氏名) 原田 儀一郎 TEL 022-290-8800
 四半期報告書提出予定日 平成22年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 特定取引勘定設置の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成23年3月期第1四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	13,082	—	2,696	—	1,528	—
22年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円 銭		円 銭	
23年3月期第1四半期	10.65		7.50	
22年3月期第1四半期	—		—	

(注) 当社は平成21年10月1日設立のため、前年同四半期の計数及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	2,206,254	56,433	2.4	236.39
22年3月期	2,115,924	56,038	2.5	232.66

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 53,878百万円 22年3月期 53,343百万円

(注) 「自己資本比率」は(期末純資産の部合計-期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
22年3月期	—	—	—	5.00	5.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 無

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	25,000	—	3,000	—	1,800	—	12.54	
通期	50,000	30.5	6,000	34.2	3,700	29.0	24.69	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 無

(注) 当社は平成21年10月1日設立のため、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

4. その他（詳細は【添付資料】P.2「その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有
新規 一社 ()、除外 1社 (株式会社北都ベンチャーキャピタル)
(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有
(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有
② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期1Q	143,464,890株	22年3月期	143,464,890株
② 期末自己株式数	23年3月期1Q	19,275株	22年3月期	18,818株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期1Q	143,445,922株	22年3月期1Q	—株

(注) 当社は平成21年10月1日設立のため、22年3月期1Qの計数は記載しておりません。

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

「種類株式の配当の状況」

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳及び配当金総額は以下のとおりです。

A種優先株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期	—				
23年3月期 (予想)		—	—	—	—

(注) 当社は、A種優先株式については剰余金の配当を行わないことを定款に定めております。

B種優先株式	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	0.01	0.01
23年3月期	—				
23年3月期 (予想)		—	—	6.32	6.32

○ 添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第1四半期連結累計期間】	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
4. (参考) 個別業績の概況 (株式会社 荘内銀行)	8
5. (参考) 個別業績の概況 (株式会社 北都銀行)	11
6. 四半期決算補足説明資料	14
平成23年3月期 第1四半期決算短信 説明資料	

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社は、平成21年10月1日に株式会社荘内銀行（以下、「荘内銀行」という。）及び株式会社北都銀行（以下、「北都銀行」という。）が共同株式移転により設立した銀行持株会社であります。当社グループは、地域に密着した広域金融グループとして、お客さまの高い満足と地域の発展のために、上質な金融情報サービスを提供し続けることを目指し、グループ各行のミドル・バック機能の集約や専門化等経営インフラ整備を進め、統合効果を最大限発揮すべく努力しております。

当第1四半期連結会計期間は、収益面ではグループ一丸となった営業推進活動により貸出金利息や役員取引等収益が順調に積み上がり、経常収益は130億82百万円となりました。費用面では統合効果抽出等による経費削減やお取引先の事業再生支援等を通じた与信コスト削減に取り組み、経常費用は103億86百万円となりました。その結果、経常利益は26億96百万円、四半期純利益は15億28百万円となりました。

また、当社グループの中核的企業である子銀行のうち、荘内銀行単体の経営成績は、経常収益は前年同期比3億24百万円（5.6%）増加の60億52百万円、経常利益は前年同期比2億22百万円（24.5%）増加の11億24百万円、四半期純利益は前年同期比87百万円（12.2%）減少の6億25百万円となり、北都銀行単体の経営成績は、経常収益は前年同期比2億30百万円（3.7%）増加の64億2百万円、経常利益は前年同期比7億67百万円（89.6%）増加の16億24百万円、四半期純利益は前年同期比3億89百万円（68.3%）増加の9億58百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は前連結会計年度末比903億円（4.2%）増加の2兆2,062億円となり、純資産は前連結会計年度末比3億円（0.7%）増加の564億円となりました。

なお、主要な勘定の残高につきましては、譲渡性預金を含む預金等の残高は前連結会計年度末比1,123億円（5.7%）増加の2兆571億円、貸出金は前連結会計年度末比94億円（0.6%）減少の1兆3,972億円、有価証券は前連結会計年度末比709億円（12.9%）増加の6,185億円となりました。

また、当社グループの中核的企業である子銀行のうち、荘内銀行の主要勘定残高は、譲渡性預金を含む預金等の残高が前事業年度末比437億円（4.9%）増加の9,302億円、貸出金が前事業年度末比31億円（0.4%）増加の7,241億円、有価証券が前事業年度末比375億円（18.4%）増加の2,407億円となり、北都銀行の主要勘定残高は、譲渡性預金を含む預金等の残高が前事業年度末比693億円（6.5%）増加の1兆1,354億円、貸出金が前事業年度末比86億円（1.2%）減少の6,652億円、有価証券が前事業年度末比334億円（9.1%）増加の3,975億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

株式会社北都ベンチャーキャピタルは解散により子会社に該当しないこととなったことから、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 減価償却費の算定方法

定率法を採用している有形固定資産については、年度に係る減価償却費の額を期間按分する方法により算定しております。

② 貸倒引当金の計上方法

「破綻先」、「実質破綻先」に係る債権等及び「破綻懸念先」で個別の予想損失額を引き当てている債権等以外の債権に対する貸倒引当金につきましては、平成22年3月期の予想損失率をもとに合理的に見直した後の予想損失率を適用して計上しております。

③ 税金費用の計算

法人税等につきましては、年度決算と同様の方法により計算しておりますが、納付税額の算出に係る加減算項目及び税額控除項目は、重要性の高い項目に限定して適用しております。

④ 繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断につきましては、一時差異の発生状況について前連結会計年度末から大幅な変動がないと認められるため、同年度末の検討において使用した将来の業績予測及びタックス・プランニングの結果を適用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間から「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。

これによる当第1四半期連結会計期間の連結財務諸表に与える影響はありません。

② 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日内閣府令第5号)の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
現金預け金	39,219	42,596
コールローン及び買入手形	88,385	65,500
買入金銭債権	6,406	5,038
商品有価証券	743	687
金銭の信託	3,967	1,000
有価証券	618,552	547,609
貸出金	1,397,271	1,406,683
外国為替	2,351	1,426
その他資産	14,443	12,678
有形固定資産	24,554	24,854
無形固定資産	1,554	1,673
繰延税金資産	15,541	16,823
支払承諾見返	15,086	16,814
貸倒引当金	△21,823	△27,462
資産の部合計	2,206,254	2,115,924
負債の部		
預金	1,951,732	1,895,388
譲渡性預金	105,453	49,483
コールマネー及び売渡手形	—	5,402
借入金	30,816	42,516
外国為替	5	0
社債	20,700	20,700
その他負債	18,006	21,005
賞与引当金	74	247
退職給付引当金	2,826	2,958
睡眠預金払戻損失引当金	212	233
偶発損失引当金	163	150
その他の引当金	63	66
繰延税金負債	11	11
再評価に係る繰延税金負債	764	764
負ののれん	3,904	4,142
支払承諾	15,086	16,814
負債の部合計	2,149,821	2,059,885

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	34,712	34,712
利益剰余金	14,549	13,743
自己株式	△9,972	△9,972
株主資本合計	54,289	53,484
その他有価証券評価差額金	△1,418	△1,149
繰延ヘッジ損益	△20	△18
土地再評価差額金	1,027	1,027
評価・換算差額等合計	△411	△140
少数株主持分	2,555	2,694
純資産の部合計	56,433	56,038
負債及び純資産の部合計	2,206,254	2,115,924

(2) 四半期連結損益計算書
【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)
経常収益	13,082
資金運用収益	8,799
(うち貸出金利息)	7,352
(うち有価証券利息配当金)	1,408
役務取引等収益	2,559
その他業務収益	1,099
その他経常収益	624
経常費用	10,386
資金調達費用	1,069
(うち預金利息)	880
役務取引等費用	673
その他業務費用	147
営業経費	7,326
その他経常費用	1,168
経常利益	2,696
特別利益	123
固定資産処分益	4
償却債権取立益	110
その他の特別利益	8
特別損失	6
固定資産処分損	4
減損損失	2
税金等調整前四半期純利益	2,813
法人税、住民税及び事業税	176
法人税等調整額	1,198
法人税等合計	1,374
少数株主損益調整前四半期純利益	1,438
少数株主損失(△)	△89
四半期純利益	1,528

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

4. (参考) 個別業績の概況 (株式会社 荘内銀行)

平成22年8月6日

会社名 株式会社 荘内銀行
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 國井 英夫 URL <http://www.shonai.co.jp/>
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 上野 雅史 TEL 023-626-9001

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

○ 平成23年3月期第1四半期の個別業績 (平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 個別経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	6,052	5.6	1,124	24.5	625	△12.2
22年3月期第1四半期	5,728	△0.7	902	—	713	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第1四半期	5.15	—
22年3月期第1四半期	5.88	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	1,020,603	35,688	3.4	294.16
22年3月期	995,630	35,403	3.5	291.81

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 35,688百万円 22年3月期 35,403百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。

○ 四半期個別財務諸表 (株式会社 荘内銀行)

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
現金預け金	19,901	23,376
コールローン	8,885	22,000
買入金銭債権	1,064	1,007
商品有価証券	76	72
金銭の信託	970	1,000
有価証券	240,756	203,205
貸出金	724,167	720,979
外国為替	1,884	1,035
その他資産	5,072	3,634
有形固定資産	12,543	12,639
無形固定資産	786	866
繰延税金資産	7,008	7,290
支払承諾見返	5,413	6,331
貸倒引当金	△7,926	△7,808
資産の部合計	1,020,603	995,630
負債の部		
預金	892,498	864,233
譲渡性預金	37,715	22,190
コールマネー	—	5,402
借入金	30,800	42,500
外国為替	5	0
社債	9,500	9,500
その他負債	7,091	8,138
退職給付引当金	1,039	1,078
睡眠預金払戻損失引当金	67	67
偶発損失引当金	19	19
再評価に係る繰延税金負債	764	764
支払承諾	5,413	6,331
負債の部合計	984,914	960,226
純資産の部		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	18,808	18,808
利益剰余金	11,793	11,167
株主資本合計	37,602	36,976
その他有価証券評価差額金	△2,920	△2,581
繰延ヘッジ損益	△20	△18
土地再評価差額金	1,027	1,027
評価・換算差額等合計	△1,913	△1,572
純資産の部合計	35,688	35,403
負債及び純資産の部合計	1,020,603	995,630

(2) 四半期損益計算書

【第1四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
経常収益	5,728	6,052
資金運用収益	4,377	4,319
(うち貸出金利息)	3,818	3,754
(うち有価証券利息配当金)	546	551
役務取引等収益	940	1,300
その他業務収益	202	132
その他経常収益	207	300
経常費用	4,825	4,927
資金調達費用	658	562
(うち預金利息)	538	463
役務取引等費用	521	481
その他業務費用	3	21
営業経費	3,386	3,413
その他経常費用	255	488
経常利益	902	1,124
特別利益	266	2
貸倒引当金戻入益	266	—
償却債権取立益	0	2
その他の特別利益	0	0
特別損失	—	—
税引前四半期純利益	1,169	1,127
法人税、住民税及び事業税	28	20
法人税等調整額	427	480
法人税等合計	455	501
四半期純利益	713	625

5. (参考) 個別業績の概況 (株式会社 北都銀行)

平成22年8月6日

会社名 株式会社 北都銀行
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 齊藤 永吉 URL <http://www.hokutobank.co.jp/>
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画部長 (氏名) 伊藤 新 TEL 018-833-4211

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

○ 平成23年3月期第1四半期の個別業績 (平成22年4月1日～平成22年6月30日)

(1) 個別経営成績 (累計) (%表示は対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第1四半期	6,402	3.7	1,624	89.6	958	68.3
22年3月期第1四半期	6,171	0.5	856	—	569	—

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
23年3月期第1四半期	6.49		4.05	
22年3月期第1四半期	3.84		—	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第1四半期	1,199,922	35,850	2.9	107.57
22年3月期	1,133,285	36,074	3.1	104.02

(参考) 自己資本 23年3月期第1四半期 35,850百万円 22年3月期 36,074百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。

○ 四半期個別財務諸表 (株式会社 北都銀行)

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期会計期間末 (平成22年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
現金預け金	19,343	19,209
コールローン	79,500	43,500
買入金銭債権	2,084	1,016
商品有価証券	667	615
金銭の信託	2,997	—
有価証券	397,560	364,153
貸出金	665,211	673,836
外国為替	466	391
その他資産	8,722	7,872
有形固定資産	14,860	15,057
無形固定資産	192	195
繰延税金資産	7,439	8,440
支払承諾見返	9,701	10,515
貸倒引当金	△8,147	△10,934
投資損失引当金	△678	△584
資産の部合計	1,199,922	1,133,285
負債の部		
預金	1,065,812	1,037,178
譲渡性預金	69,637	28,892
外国為替	0	—
社債	11,900	11,900
その他負債	4,864	6,451
賞与引当金	49	195
退職給付引当金	47	6
睡眠預金払戻損失引当金	145	166
偶発損失引当金	144	131
再評価に係る繰延税金負債	1,768	1,773
支払承諾	9,701	10,515
負債の部合計	1,164,071	1,097,210
純資産の部		
資本金	11,000	11,000
資本剰余金	18,499	18,499
利益剰余金	1,125	1,119
株主資本合計	30,625	30,619
その他有価証券評価差額金	3,053	3,279
土地再評価差額金	2,171	2,175
評価・換算差額等合計	5,225	5,454
純資産の部合計	35,850	36,074
負債及び純資産の部合計	1,199,922	1,133,285

(2) 四半期損益計算書

【第1四半期累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)
経常収益	6,171	6,402
資金運用収益	4,488	4,536
(うち貸出金利息)	3,581	3,414
(うち有価証券利息配当金)	873	1,095
役務取引等収益	950	1,002
その他業務収益	535	820
その他経常収益	197	42
経常費用	5,315	4,778
資金調達費用	666	511
(うち預金利息)	560	416
役務取引等費用	269	268
その他業務費用	80	44
営業経費	3,861	3,620
その他経常費用	437	333
経常利益	856	1,624
特別利益	95	69
固定資産処分益	34	5
償却債権取立益	60	64
特別損失	2	10
固定資産処分損	2	6
減損損失	0	3
税引前四半期純利益	949	1,684
法人税、住民税及び事業税	6	6
法人税等調整額	372	718
法人税等合計	379	725
四半期純利益	569	958

6. 四半期決算補足説明資料

平成23年3月期 第1四半期決算短信 説明資料

1. 損益の状況

(1) フィデアホールディングス【連結】

平成23年3月期第1四半期の連結経常収益は130億82百万円、連結経常利益は26億96百万円、四半期純利益は15億28百万円となりました。

平成23年3月期第2四半期累計期間予想値は連結経常収益は250億円、連結経常利益は30億円、当期純利益は18億円を見込んでおります。

(単位：百万円)

	平成23年3月期 第1四半期 (3ヵ月累計) (A)	平成22年3月期 第1四半期 (3ヵ月累計) (B)	前年同四半期 対比 (A) - (B)	平成23年3月期 第2四半期累計 期間予想値
連結経常収益	13,082	——	——	25,000
連結粗利益	10,567	——	——	
資金利益	7,729	——	——	
役員取引等利益	1,885	——	——	
その他業務利益	952	——	——	
営業経費	7,326	——	——	
貸倒償却引当費用	780	——	——	
貸出金償却	14	——	——	
個別貸倒引当金繰入額	657	——	——	
一般貸倒引当金繰入額	46	——	——	
バルクセール売却損	—	——	——	
その他の不良債権処理額	62	——	——	
株式等関係損益	11	——	——	
その他損益	224	——	——	
経常利益	2,696	——	——	3,000
特別損益	117	——	——	
税金等調整前四半期純利益	2,813	——	——	
法人税、住民税及び事業税	176	——	——	
法人税等調整額	1,198	——	——	
法人税等合計	1,374	——	——	
少数株主損益調整前四半期純利益	1,438	——	——	
少数株主損失(△)	△ 89	——	——	
四半期純利益	1,528	——	——	1,800

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

(2) 2行合算【単体】

(単位：百万円)

	平成23年3月期 第1四半期 (3ヵ月累計) (A)	平成22年3月期 第1四半期 (3ヵ月累計) (B)	前年同四半期 対比 (A) - (B)
経常収益	12,454	11,900	554
業務粗利益 (除く国債等債券損益) = コア業務粗利益	10,222 (10,006)	9,296 (9,162)	926 (843)
資金利益	7,782	7,541	240
役務取引等利益	1,553	1,100	453
その他業務利益 (うち国債等債券損益)	887 216	654 134	232 82
経費 (除く臨時処理分)	6,974	7,201	△ 226
人件費	3,325	3,205	119
物件費	3,303	3,483	△ 180
税金	345	511	△ 165
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・のれん償却前)	3,248	2,095	1,152
のれん償却額	—	—	—
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	3,248	2,095	1,152
除く国債等債券損益 = コア業務純益	3,031	1,961	1,070
①一般貸倒引当金繰入額	△ 146	△ 183	37
業務純益	3,394	2,278	1,115
臨時損益	△ 645	△ 519	△ 125
②うち不良債権処理額	473	571	△ 97
貸出金償却	0	—	0
個別貸倒引当金繰入額	411	532	△ 121
バルクセール売却損	△ 0	—	△ 0
その他の不良債権処理額	62	38	23
(貸倒償却引当費用①+②)	(327)	(388)	(△ 60)
うち株式等関係損益	9	241	△ 231
その他臨時損益	△ 181	△ 189	8
経常利益	2,749	1,759	989
特別損益	62	359	△ 297
税引前四半期純利益	2,811	2,119	692
法人税、住民税及び事業税	27	35	△ 7
法人税等調整額	1,198	800	398
法人税等合計	1,226	835	390
四半期純利益	1,584	1,283	301

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

(3) 子銀行単体

① 荘内銀行

平成23年3月期第1四半期の経常収益は前年同期比3億24百万円増加の60億52百万円（前年同期比5.65%増加）となりました。

また、手数料収入の増加等により経常利益は前年同期比2億22百万円増加の11億24百万円、四半期純利益は前年同期比87百万円減少の6億25百万円となりました。

(単位：百万円)

	平成23年3月期 第1四半期 (3ヵ月累計) (A)	平成22年3月期 第1四半期 (3ヵ月累計) (B)	前年同四半期 対比 (A) - (B)	平成23年3月期 第2四半期累計 期間予想値
経常収益	6,052	5,728	324	11,800
業務粗利益	4,687	4,338	349	
(除く国債等債券損益) = コア業務粗利益	(4,626)	(4,296)	(330)	
資金利益	3,757	3,719	37	
役員取引等利益	819	418	400	
その他業務利益	110	199	△88	
(うち国債等債券損益)	60	41	19	
経費 (除く臨時処理分)	3,354	3,339	14	
人件費	1,660	1,549	110	
物件費	1,540	1,632	△91	
税金	153	156	△3	
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・のれん償却前)	1,332	998	334	
のれん償却額	—	—	—	
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	1,332	998	334	
除く国債等債券損益 = コア業務純益	1,272	956	315	
①一般貸倒引当金繰入額	△17	—	△17	
業務純益	1,349	998	351	
臨時損益	△225	△96	△129	
②うち不良債権処理額	157	39	118	
貸出金償却	0	—	0	
個別貸倒引当金繰入額	138	—	138	
バルクセール売却損	—	—	—	
その他の不良債権処理額	18	39	△20	
(貸倒償却引当費用①+②)	(140)	(39)	(101)	
うち株式等関係損益	12	151	△138	
その他臨時損益	△80	△207	127	
経常利益	1,124	902	222	1,800
特別損益	2	266	△264	
税引前四半期純利益	1,127	1,169	△42	
法人税、住民税及び事業税	20	28	△7	
法人税等調整額	480	427	52	
法人税等合計	501	455	45	
四半期純利益	625	713	△87	1,000

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

② 北都銀行

平成23年3月期第1四半期の経常収益は前年同期比2億30百万円増加の64億2百万円（前年同期比3.73%増加）となりました。

また、有価証券利息配当金の増加や不良債権処理費用の減少等により、経常利益は前年同期比7億67百万円増加の16億24百万円、四半期純利益は前年同期比3億89百万円増加の9億58百万円となりました。

(単位：百万円)

	平成23年3月期 第1四半期 (3ヵ月累計) (A)	平成22年3月期 第1四半期 (3ヵ月累計) (B)	前年同四半期 対比 (A) - (B)	平成23年3月期 第2四半期累計 期間予想値
経常収益	6,402	6,171	230	11,500
業務粗利益 (除く国債等債券損益) = コア業務粗利益	5,535 (5,379)	4,958 (4,866)	577 (513)	
資金利益	4,024	3,821	202	
役務取引等利益	734	681	52	
その他業務利益	776	455	321	
(うち国債等債券損益)	155	92	63	
経費 (除く臨時処理分)	3,620	3,861	△ 241	
人件費	1,664	1,656	8	
物件費	1,762	1,851	△ 88	
税金	192	354	△ 161	
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・のれん償却前)	1,915	1,096	818	
のれん償却額	—	—	—	
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	1,915	1,096	818	
除く国債等債券損益 = コア業務純益	1,759	1,004	755	
①一般貸倒引当金繰入額	△ 129	△ 183	54	
業務純益	2,044	1,279	764	
臨時損益	△ 419	△ 423	3	
②うち不良債権処理額	315	531	△ 216	
貸出金償却	—	—	—	
個別貸倒引当金繰入額	272	532	△ 259	
バルクセール売却損	△ 0	—	△ 0	
その他の不良債権処理額	43	△ 0	43	
(貸倒償却引当費用①+②)	(186)	(348)	(△ 162)	
うち株式等関係損益	△ 3	90	△ 93	
その他臨時損益	△ 100	18	△ 118	
経常利益	1,624	856	767	1,000
特別損益	59	93	△ 33	
税引前四半期純利益	1,684	949	734	
法人税、住民税及び事業税	6	6	△ 0	
法人税等調整額	718	372	345	
法人税等合計	725	379	345	
四半期純利益	958	569	389	600

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

2. 金融再生法開示債権の状況【単体】

- ◆ 荘内銀行の金融再生法開示債権比率（単体）は平成22年3月末比0.02ポイント減少の2.30%となりました。平成21年6月末比では0.81ポイント減少となりました。
同行は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の金融再生法開示債権比率は1.64%となります。
- ◆ 北都銀行の金融再生法開示債権比率（単体）は平成22年3月末比0.41ポイント減少の3.26%となりました。平成21年6月末比では1.27ポイント減少となりました。

(1) 2行合算

(単位：百万円)

	平成22年6月末	平成21年6月末	平成22年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	13,619	15,033	13,603
危険債権	16,724	23,518	19,426
要管理債権	8,881	15,153	9,438
合計 (A)	39,224	53,706	42,468
正常債権	1,381,318	1,355,024	1,383,226
総与信 (B)	1,420,542	1,408,731	1,425,695
総与信に占める割合 (A)÷(B)	2.76%	3.81%	2.97%

(注) 1. 上記計数は、(2)(3)に記載の各子銀行の計数を単純合算しております。

2. 荘内銀行は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の金融再生法開示債権比率（2行合算）は2.42%となります。

(2) 荘内銀行

(単位：百万円)

	平成22年6月末	平成21年6月末	平成22年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,526	9,149	8,353
危険債権	5,490	7,041	5,654
要管理債権	3,085	6,035	3,221
合計 (A)	17,102	22,226	17,229
正常債権	725,889	692,338	722,283
総与信 (B)	742,992	714,564	739,513
総与信に占める割合 (A)÷(B)	2.30%	3.11%	2.32%

(注) 1. 上記計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分類しております。

2. また、同計数は各四半期末（事業年度末）を基準日として、荘内銀行の定める自己査定基準に基づき自己査定を行い算出しております。

なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額のうち、無価値と認められる部分について直接償却（部分直接償却）は実施しておりません。

(3) 北都銀行

(単位：百万円)

	平成22年6月末	平成21年6月末	平成22年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,092	5,884	5,250
危険債権	11,233	16,477	13,771
要管理債権	5,795	9,117	6,216
合計 (A)	22,121	31,479	25,238
正常債権	655,428	662,686	660,942
総与信 (B)	677,550	694,166	686,181
総与信に占める割合 (A)÷(B)	3.26%	4.53%	3.67%

(注) 1. 上記計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権の категорияにより分類しております。

2. また、同計数は各四半期末（事業年度末）を基準日として、北都銀行の定める自己査定基準に基づき自己査定を行い算出しております。

なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額（部分直接償却）しております。

3. 時価のある有価証券の評価差額【連結】【単体】

(単位：百万円)

		平成22年6月末				平成22年3月末			
		時価	評価差額			時価	評価差額		
			うち益	うち損			うち益	うち損	
フィデアHD連結	その他有価証券	614,388	△ 264	9,286	9,550	543,457	△ 79	7,360	7,439
	株式	17,427	△ 508	928	1,436	18,063	957	1,858	900
	債券	516,966	6,965	7,037	72	442,725	2,477	2,982	505
	その他	79,993	△ 6,720	1,320	8,041	82,668	△ 3,515	2,519	6,034
2行合算	その他有価証券	614,272	1,878	12,915	11,036	543,345	2,362	11,735	9,373
	株式	17,312	776	2,202	1,426	17,951	2,244	3,271	1,026
	債券	516,966	9,473	9,542	68	442,725	5,188	5,676	487
	その他	79,993	△ 8,372	1,170	9,542	82,668	△ 5,071	2,787	7,859
荘内銀行(単体)	その他有価証券	227,314	△ 2,756	4,982	7,739	189,775	△ 2,219	4,525	6,744
	株式	9,067	△ 233	705	939	9,320	574	1,286	712
	債券	180,161	3,688	3,701	12	140,541	1,694	1,888	194
	その他	38,084	△ 6,211	575	6,786	39,913	△ 4,488	1,349	5,838
北都銀行(単体)	その他有価証券	386,958	4,635	7,932	3,297	353,570	4,582	7,210	2,628
	株式	8,244	1,010	1,497	486	8,631	1,670	1,984	314
	債券	336,805	5,784	5,840	55	302,184	3,493	3,787	293
	その他	41,908	△ 2,160	594	2,755	42,754	△ 582	1,438	2,021

- (注) 1. 有価証券について記載しております。
2. 「評価差額」及び「評価損益」は、取得原価（償却原価適用後、減損処理後。）と時価との差額を計上しております。
3. 株式については、決算日前1ヵ月の市場価格の平均に基づいて算定された価額を、また、それ以外については、決算日における市場価格等に基づく価額を時価としております。
4. 変動利付国債については、昨今の市場環境を踏まえた検討の結果、引続き市場価格を時価としてみなせない状況であると判断し、経営者の合理的な見積りに基づく合理的に算定された価額を時価としております。
変動利付国債の合理的に算定された価額は、国債の利回り等から見積もった将来キャッシュ・フローを、同利回りに基づく割引率を用いて割り引いた価額であり、国債の利回り及び同利回りのボラティリティが主な価格決定変数であります。
5. なお、満期保有目的の債券に係る含み損益は以下のとおりであります。時価のある子会社・関連会社株式は該当ありません。

(単位：百万円)

	平成22年6月末				平成22年3月末			
	帳簿価額	評価損益			帳簿価額	評価損益		
		うち益	うち損			うち益	うち損	
フィデアHD連結	—	—	—	—	—	—	—	—
2行合算	385	347	347	—	385	328	328	—
荘内銀行(単体)	385	347	347	—	385	328	328	—
北都銀行(単体)	—	—	—	—	—	—	—	—

4. デリバティブ取引【単体】

(1) 金利関連取引
該当ありません。

(2) 通貨関連取引

(単位：百万円)

	区分	種類	平成22年6月末			平成21年6月末			平成22年3月末		
			契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
2行合算	店頭	為替予約	1,932	27	27	2,208	19	19	3,091	15	15
		合計		27	27		19	19		15	15
荘内銀行	店頭	為替予約	1,932	27	27	2,208	19	19	3,091	15	15
		合計		27	27		19	19		15	15
北都銀行	店頭	為替予約	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		合計		—	—		—	—		—	—

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(3) 株式関連取引

(単位：百万円)

	区分	種類	平成22年6月末			平成21年6月末			平成22年3月末		
			契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
2行合算	取引所	株価指数先物	—	—	—	898	4	4	—	—	—
		株価指数オプション	—	—	—	1,137	△34	△6	—	—	—
		合計		—	—		△29	△2		—	—
荘内銀行	取引所	株価指数先物	—	—	—	898	4	4	—	—	—
		株価指数オプション	—	—	—	1,137	△34	△6	—	—	—
		合計		—	—		△29	△2		—	—
北都銀行	取引所	株価指数先物	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		株価指数オプション	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		合計		—	—		—	—		—	—

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(4) 債券関連取引

(単位：百万円)

	区分	種類	平成22年6月末			平成21年6月末			平成22年3月末		
			契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
2行合算	取引所	債券先物	2,833	—	—	—	—	—	—	—	—
		合計		—	—		—	—		—	—
荘内銀行	取引所	債券先物	2,833	—	—	—	—	—	—	—	—
		合計		—	—		—	—		—	—
北都銀行	取引所	債券先物	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		合計		—	—		—	—		—	—

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(5) 商品関連取引・クレジットデリバティブ取引

(単位：百万円)

	区分	種類	平成22年6月末			平成21年6月末			平成22年3月末		
			契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
2行合算	店頭	クレジット・デフォルト・スワップ	—	—	—	111	—	—	—	—	—
		合計	/	—	—	/	—	—	/	—	—
荘内銀行	店頭	クレジット・デフォルト・スワップ	—	—	—	111	—	—	—	—	—
		合計	/	—	—	/	—	—	/	—	—
北都銀行	店頭	クレジット・デフォルト・スワップ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		合計	/	—	—	/	—	—	/	—	—

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(6) 複合金融商品関連取引

(単位：百万円)

	区分	種類	平成22年6月末			平成21年6月末			平成22年3月末		
			契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
2行合算	市場取引以外の取引	複合金融商品(貸出金)	23,000	971	971	32,000	△488	△488	23,000	318	318
		合計	/	971	971	/	△488	△488	/	318	318
荘内銀行	市場取引以外の取引	複合金融商品(貸出金)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		合計	/	—	—	/	—	—	/	—	—
北都銀行	市場取引以外の取引	複合金融商品(貸出金)	23,000	971	971	32,000	△488	△488	23,000	318	318
		合計	/	971	971	/	△488	△488	/	318	318

(注) 1. 時価の算定方法

割引現在価値により算出しております。

2. 時価は、複合金融商品のうち組込デリバティブの部分であり、評価損益を損益計算書に計上しております。
3. 契約額等については、当該複合金融商品(貸出金)の元本金額を表示しております。

5. 預金、貸出金等の状況【単体】

(1) 預金等(含む譲渡性預金)

- ◆ 荘内銀行の平成22年6月末における預金等の残高は平成22年3月期比437億89百万円増加の9,302億14百万円となりました。平成21年6月末比では575億50百万円増加しております。
- ◆ 北都銀行の平成22年6月末における預金等の残高は平成22年3月期比693億79百万円増加の1兆1,354億50百万円となりました。平成21年6月末比では138億32百万円増加しております。

(単位：百万円)

	平成22年6月末	平成21年6月末	平成22年3月末
2行合算	2,065,665	1,994,282	1,952,496
荘内銀行	930,214	872,663	886,424
北都銀行	1,135,450	1,121,618	1,066,071

(2) 貸出金

- ◆ 荘内銀行の平成22年6月末における貸出金の残高は平成22年3月期比31億88百万円増加の7,241億67百万円となりました。平成21年6月末比では288億58百万円増加しております。
- ◆ 北都銀行の平成22年6月末における貸出金の残高は平成22年3月期比86億24百万円減少の6,652億11百万円となりました。平成21年6月末比では156億85百万円減少しております。

(単位：百万円)

		平成22年6月末	平成21年6月末	平成22年3月末
2行合算	貸出金	1,389,378	1,376,205	1,394,815
	うち消費者ローン残高	490,907	477,158	488,996
	うち住宅ローン残高	437,695	423,364	435,361
荘内銀行	貸出金	724,167	695,308	720,979
	うち消費者ローン残高	306,083	293,985	304,008
	うち住宅ローン残高	285,168	272,105	282,850
北都銀行	貸出金	665,211	680,897	673,836
	うち消費者ローン残高	184,824	183,173	184,987
	うち住宅ローン残高	152,527	151,259	152,510

6. 投資信託及び公共債の預かり残高、生命保険の販売累計額【単体】

- ◆ 荘内銀行の平成22年6月末における投資信託の預かり残高は平成22年3月期比165億9百万円減少の1,049億34百万円（平成21年6月末比106億68百万円減少）となる一方、生命保険の販売累計額は平成22年3月期比75億76百万円増加の1,199億38百万円（平成21年6月末比212億98百万円増加）となりました。
- ◆ 北都銀行の平成22年6月末における投資信託の預かり残高は平成22年3月期比55億74百万円減少の485億31百万円（平成21年6月末比98億53百万円増加）となる一方、生命保険の販売累計額は平成22年3月期比90億31百万円増加の833億10百万円（平成21年6月末比209億63百万円増加）となりました。

(単位：百万円)

		平成22年6月末	平成21年6月末	平成22年3月末
2行合算	投資信託	153,466	154,281	175,550
	公共債（国債等）	54,613	57,664	55,541
	生命保険	203,249	160,988	186,641
	うち個人年金保険	168,345	152,123	164,659
	うち一時払い終身保険	34,903	8,864	21,981
荘内銀行	投資信託	104,934	115,603	121,444
	公共債（国債等）	15,032	13,601	15,093
	生命保険	119,938	98,640	112,362
	うち個人年金保険	98,034	90,568	96,215
	うち一時払い終身保険	21,903	8,072	16,146
北都銀行	投資信託	48,531	38,677	54,106
	公共債（国債等）	39,581	44,062	40,448
	生命保険	83,310	62,347	74,278
	うち個人年金保険	70,310	61,555	68,443
	うち一時払い終身保険	12,999	792	5,834

(注) 生命保険は、販売累計額を記載しております。

各 位

フィデアホールディングス株式会社
株式会社 荘内銀行
株式会社 北都銀行

フィデアグループの平成 23 年 3 月期 第 1 四半期決算概要について

フィデアホールディングス株式会社（本社：仙台市、社長：里村 正治、以下「フィデアHD」）は、平成 23 年 3 月期第 1 四半期連結業績等の概要と、グループの中核企業である株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：國井 英夫、以下「荘内銀行」）及び株式会社北都銀行（本店：秋田市、頭取：齊藤 永吉、以下「北都銀行」）の単体業績等につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. フィデアHD

(1) 平成 23 年 3 月期第 1 四半期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 6 月 30 日）連結業績

業容の拡大や手数料収入の増加、経費削減に努めたことなどにより、業績は順調に推移。

			番号	平成23年3月期 第1四半期
【連結】	損益	経常収益	(1)	13,082 百万円
		経常利益	(2)	2,696 百万円
		四半期純利益	(3)	1,528 百万円
	主要勘定残高 (末残)	総資産	(4)	22,062 億円
		預金等(譲渡性預金を含む)	(5)	20,571 億円
		貸出金	(6)	13,972 億円
		有価証券	(7)	6,185 億円

(2) 平成 23 年 3 月期（平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日）連結業績予想

(注) 当社は平成 21 年 10 月 1 日設立のため、対前年同四半期増減は記載しておりません。

		番号	第2四半期累計期間			通期		
			前年同期比	同増減率	前期比	同増減率		
フィデアHD (連結)	経常収益	(8)	25,000 百万円	— 百万円	— %	50,000 百万円	11,699 百万円	30.5 %
	経常利益	(9)	3,000 百万円	— 百万円	— %	6,000 百万円	1,529 百万円	34.2 %
	当期(四半期)純利益	(10)	1,800 百万円	— 百万円	— %	3,700 百万円	831 百万円	29.0 %

平成 22 年 5 月 14 日に公表しております業績予想を変更しておりません。

【本件に関するお問い合わせ先】

フィデアホールディングス IRグループ 大石 TEL : 018-833-4211
佐藤 TEL : 023-626-9006

2. 荘内銀行（単体）

手数料収入の増加などにより増収増益。譲渡性預金を含む預金等残高は、信用のバロメーターといわれる個人預金と、公金預金の増加により、前年同期比 575 億円（6.5%）増加の 9,302 億円と中計目標 1 兆円に向けて順調に推移。貸出金残高は、住宅ローンをはじめとした個人向け貸出と地公体等向け貸出が増加し、前年同期比 288 億円（4.1%）増加の 7,241 億円となった。

【単体】		番号	荘内銀行		
			前年同期比	前年同期比増減率	
損益	経常収益	(11)	6,052 百万円	324 百万円	5.6 %
	業務純益	(12)	1,349 百万円	351 百万円	35.1 %
	コア業務純益*	(13)	1,272 百万円	315 百万円	32.9 %
	経常利益	(14)	1,124 百万円	222 百万円	24.5 %
	四半期純利益	(15)	625 百万円	△ 87 百万円	△ 12.2 %
不良債権	金融再生法開示債権額	(16)	17,102 百万円	△ 5,124 百万円	△ 23.0 %
	総与信に占める割合	(17)	2.30 %	△ 0.81 %	
主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(18)	9,302 億円	575 億円	6.5 %
	貸出金	(19)	7,241 億円	288 億円	4.1 %
	有価証券	(20)	2,407 億円	664 億円	38.0 %

*コア業務純益 = 業務純益 - 国債等債券損益(5勘定戻) + 一般貸倒引当金純繰入額

3. 北都銀行（単体）

資金利益の増加や経費削減効果等により大幅増益。譲渡性預金を合わせた預金等残高は、信用のバロメーターといわれる個人預金と、公金預金の増加により、前年同期比 138 億円（1.2%）増加の 1 兆 1,354 億円。貸出金残高は、個人ローンが増加したものの、法人向け貸出が減少し、前年同期比 156 億円（2.3%）減少の 6,652 億円となった。

【単体】		番号	北都銀行		
			前年同期比	前年同期比増減率	
損益	経常収益	(21)	6,402 百万円	230 百万円	3.7 %
	業務純益	(22)	2,044 百万円	764 百万円	59.7 %
	コア業務純益*	(23)	1,759 百万円	755 百万円	75.2 %
	経常利益	(24)	1,624 百万円	767 百万円	89.6 %
	四半期純利益	(25)	958 百万円	389 百万円	68.3 %
不良債権	金融再生法開示債権額	(26)	22,121 百万円	△ 9,357 百万円	△ 29.7 %
	総与信に占める割合	(27)	3.26 %	△ 1.27 %	
主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(28)	11,354 億円	138 億円	1.2 %
	貸出金	(29)	6,652 億円	△ 156 億円	△ 2.3 %
	有価証券	(30)	3,975 億円	619 億円	18.4 %

*コア業務純益 = 業務純益 - 国債等債券損益(5勘定戻) + 一般貸倒引当金純繰入額

以上

詳しくは「平成 23 年 3 月期 第 1 四半期決算短信」をご覧ください。